

ホールへのアンケート調査結果

(整備・運営全体に関する考え方・機能・規模・場所)

①整備・運営全体に関する考え方(文化ホールの持続的な運営を行うにあたって取り組んでいきたい課題や、課題を踏まえた福知山市に対してのアドバイス)

【人口5万人以下、大600席台、小200席台、駐車場400台】

劇場運営を通した「住民主役・行政支援」のまちづくり、ひとづくりを行っている。市政に直結するため、直営でのホール運営にこだわっている。「文化芸術」は、誰にでも自由に解釈できるもので、住民にとっても安心して、参加参画できる分野である。また、住民との対話が必要となるため、市職員の育成にもつながる。一方で、貸館等の業務においては、柔軟なルール変更やサービス対応等ができない現状もある。施設を創るというだけでなく、まちづくりのツールとして、取り組む必要があると感じている。

【人口30万人台、大700席台、小200席台、駐車場数十台】

議会やバレエ・音楽団体などの要望で、1,000席以上の客席の施設を建設しても、結果として市民が自分たちの活動で利用するには大きすぎて使い勝手が悪く、利用料金も高く設定せざるをえず、結果としては稼働率等も上がらないケースがよく観られる。あわせて、プロモーターが興行を行いたいと考えるような立地条件でないならば、プロモーターが利用したがるからということで、客席数を1,000席以上にする必要はないと考える。それよりも、市民の日常的な活動で利用しやすいシンプルで小振りなホールや稽古場を安価で利用できるように施設をお勧めする。

【人口5万人以下、大1000席台、駐車場数200台】

貴市の会館を利用した文化政策が重要で、鑑賞型、育成型、参加型、貸館などどれに重点に置くかコンセプトをしっかりと持つことが必要で、そのことを設計に生かすこと。少子高齢化、人口減少が急激に予想される時代に、鑑賞型を中心とした文化振興は過去のこと。大切なことは文化芸術に関心をもち実践するする団体や個人を増やすことが重点を置くべき。持続的な運営ができるかどうかは、ともすれば赤字の温床になる鑑賞型事業を、赤字を出さない覚悟で実施できるかが問われる。駐車場の有料化。

【人口300万人台、大1200席台、小200席台、駐車場数十台】

建設費だけでなく、その後のランニングコストを踏まえた運営が課題にだと感じる。また、近隣の既存施設との役割分担、差別化をしていくことが持続的な運営を行うに当たって大切になってくると考える。

【人口 10 万人以下、大 400 席台、駐車場数 400 台】

直営施設であるが、正規職員としてホールスタッフがおらず、ホール運営業務は委託して実施しているため、今後は指定管理制度の導入も含め、継続して運営するための体制づくりに取り組む必要がある。

【人口 5 万人以下、大 800 席台、駐車場数 200 台】

ホールの規模（座席数）やホール内の施設構成（会議室等）及び駐車場の確保などの調整（検討）と今後の維持管理を加味して大規模改修などの長期計画の検討をされた方が良いかと考える。（施設維持の経費と利用状況とのバランスを検討）

②機能

【人口 10 万人以下、大 400 席台、駐車場数 400 台】

ホール機能や設備の強化を優先し、施設内には作品展示などの多目的に使用できる多目的スペースを整備しているため、席が収納可能な移動式観覧席等は不要と判断された。

【人口 30 万人台、大 700 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

主ホールは、客席前方部分を束立て式床構造にして可動席とすることで、オーケストラピット、仮設脇花道、仮設本花道、張出舞台などを設置出来るようにした。小ホールは、催し物によって、舞台奥行きサイズを、5 間仕様、4 間仕様、3 間仕様とする際に、それにあわせて客席を設置できるようにした。

【人口 300 万人台、大 1200 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

「創造型劇場」として、自由で多彩な演目や舞台演出に対応できるフレキシブルな床昇降システムを取り入れた可動客席となっている。勾配を変更できる客席形状は、空間の“可変性”と客席の“一体感”を生み出す、当館の最大の特徴である。

【人口 5 万人以下、大 800 席台、小 100 席台、駐車場 400 台】

小ホールは、フラットでの使用を望む利用者も少なくないことから、可動式となっている。

【人口 5 万人以下、大 600 席台、小 200 席台、駐車場 400 台】

(小ホールについては) 美術展等の展示会を主目的に考えることから協議が始まり、その後、飲食可能で多目的に利用可能な小ホール(講演会や会議、食事会等)を創るため、可動式の椅子が設置された。

【人口 10 万人以下、大 1500 席台、小 300 席台、駐車場数 200 台】

大ホールが劇場形式なのに対して、小ホールを可動席にすることにより、展示会・展覧会などの実施が可能になる。舞台も可動式で、収納すれば全面平土間での使用が可能となる。

【人口 5 万人以下、大 1000 席台、駐車場数 200 台】

固定席が満席になった場合の対応策で、補助席を倉庫に準備してあるが、約 15 年前から使ったことはない。車いす席(6 席)は必要である。

【人口 10 万人以下、大 400 席台、駐車場数 400 台】

計画段階から近隣ホールより優れたホール機能の整備が検討されており、スタインウェイを導入するなどしている。検討委員会を設置し、生涯学習や健康づくり、子育て機能や図書

館機能を複合した施設として整備した経緯がある。

【人口 5 万人以下、大 800 席台、駐車場数 200 台】

クラシックの演奏会など、音の響きにこだわった設計と聞いている。

【人口 30 万人台、大 700 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

部屋数を増やすためなのか、小さめな部屋をいくつか用意したが、それらを一体にしたサイズの方が使い勝手が良く、結果としては利用率・件数も多くなったのではないかと予想する。

【人口 5 万人以下、大 1000 席台、駐車場数 200 台】

特に昨今は育成型、参加型が大事なので、練習室は十分配慮する必要がある。稼働率からいえば、20～30名程度の定員の洋室が良いが、和室も必要。

【人口 30 万人台、大 700 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

DS にスプリンクラーを設置するなどしてでも、倉庫などの収納スペースを余裕をもって用意できれば良かった。

【人口 300 万人台、大 1200 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

当館のホールには「客席形状が変更できる」という最大の特徴があるが、貸館においては形状変更にかかる時間・人手・費用面（客席減のための費用対効果も含めて）で、なかなか実施にいたる主催者は少ない。主催・提携事業においてのみ形状変更を活かしたホール空間を創り、活用しているというのが現状である。

【人口 5 万人以下、大 1000 席台、駐車場数 200 台】

車いすで移動できるようにロビーから客席、客席からの舞台上へのスロープ、客席前方の車いす席の設置、練習室への昇降用エレベーターなどバリアフリーの対応が必要。

【人口 10 万人以下、大 1500 席台、小 300 席台、駐車場数 200 台】

駐車場、トイレは充実させておくことが望ましい。控室（楽屋）、倉庫も多いほうが良い。また、楽屋は大ホール 8 室、小ホール 2 室は必要。

③規模

【人口 5 万人以下、大 800 席台、小 100 席台、駐車場 400 台】

イベントを実施する際に 1000 席が基準とされる場合もあるので、1000 席は確保できた方が望ましい。

【人口 5 万人以下、大 1000 席台、駐車場数 200 台】

以前なら 1000 名が必要と感じていたが、現在では 600 名程度が最適だと思う。自主、貸館とも入場者 200～600 名程度の催し物が約 95%だ。

【人口 5 万人以下、大 600 席台、小 200 席台、駐車場 400 台】

周辺自治体の稼働状況等を踏まえると 1000 人規模のホール稼働を維持することは難しい状況を鑑みて、町の人口減少等も踏まえ、800 席か 600 席で協議が続き、ゆったりとした鑑賞環境が良いという意見から 600 席台に決定した。それでも満席にはできない住民団体などの声から、半分（300 席台）にできる機能を整備した。

【人口 10 万人以下、大 700 席台、駐車場 700 台】

プロダクション等の興行に利用していただくには利益の観点から 800 席以上が求められている。

【人口 30 万人台、大 700 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

演劇などの上演に最適化するため、舞台上の生の音がダイレクトに伝わる限界といわれている、舞台ツラから 2 階席後方までを 25 メートル以内、客席数を 800 席以内とした。

【人口 300 万人台、大 1200 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

優れた文化芸術の創造・発信機能を持たせ、創造性の高い芸術公演について、集客の観点から中規模以下のホールが望ましいことや、既存ホールとの関係から、ホールの席数規模を設定した。

【人口 5 万人以下、大 800 席台、駐車場数 200 台】

「町内の中学校の生徒が全員座れることを想定して座席数を検討している」と聞いたことがある。

④場所

【人口 30 万人台、大 700 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

新幹線・在来線の駅から徒歩圏内なので、公共交通機関を使って比較的遠方からも来場者がある。駅から徒歩圏内であり、ホテルや飲食店も近くにあるため、招聘公演を行う際にも、キャスト・スタッフの移動、宿泊、飲食についても便利である。

【人口 300 万人台、大 1200 席台、小 200 席台、駐車場数十台】

近隣の徒歩圏には、〇〇（関東有数の繁華街）など、人の賑わいがある場所が多く点在し、最寄り駅から近く、適した立地と考えている。

【人口 10 万人以下、大 400 席台、駐車場数 400 台】

公共交通機関によるアクセスが困難な場所に立地しており、ほとんどの来館者は自家用車やタクシー等を利用する必要がある。近傍に体育館施設があり、大会などの大規模な行事が重なった場合、駐車場が不足する可能性がある。

【人口 5 万人以下、大 800 席台、駐車場数 200 台】

駐車場についてホール座席数から見ても少ないため、駐車場の確保が課題である。近隣にある〇〇（商業施設）の駐車場を借りる場合がある。

【人口 5 万人以下、大 1000 席台、駐車場数 200 台】

住宅地から少し距離があるため自動車による来館が大半であり、バスによる送迎の必要が生じた。また、街の中心地からの距離があることから、食事できる場所が無いなど利便性の悪さを指摘されることが多い。

【人口 10 万人以下、大 700 席台、駐車場 700 台】

施設の立地条件の悪さがチケットの売れ行き等に影響していると思われる。完売することが少ない。